

○JAなめがたしおさいによる旬製品のPRが行われました。

令和4年4月28日(木)に鹿行農林事務所長室でJAなめがたしおさいによる旬製品(葉菖蒲、葉しょうが、ピーマン、エシャレット)のPRが行われました。

葉菖蒲

葉菖蒲は、約50年前から当JA管内で栽培が始まりました。菖蒲を入れた湯船に浸かると邪気を払うといわれ、縁起物として5月の節句の時期に、なくてはならない伝統的な農産物です。

葉しょうが

葉しょうがは、昭和30年代後期から北浦吉川地区を中心に栽培が始まりました。4月中旬から8月中旬まで出荷され、6月から7月にかけて最盛期を迎えます。

エシャレット

エシャレットは、昭和30年代から玉造地区を中心に栽培が始まりました。生食用として普通栽培より手間をかけ、軟白栽培されたらっきょうを「エシャレット」という呼び名で販売しています。

周年出荷しておりますが、6月から10月下旬に最盛期を迎えます。

ピーマン

ピーマンは、昭和24年頃から波崎地区で栽培が始まりました。鹿島開発が進められた昭和40年頃からハウス栽培する農家が増え、1年を通して出荷する一大産地が形成されました。

現在、旬の春ピーマンを、種やわたまで食べることのできる丸焼きでお召し上がりください。

